

住民に対する情報発信の多様化

茨城県取手市議会 ～SNSを活用した情報発信～

【人口】（令和2年国調）104,524人
【議員】24人（うち女性議員7人）

※令和4年4月1日現在

- 取手市議会では、SNSを活用して議会情報を積極的に配信。
- 定例会の開催情報だけでなく、住民との意見交換会や視察の内容等、議会情報を幅広く発信している。



取手市議会・議会事務局

7月2日

【総務文教常任委員会がPTA会長・副会長とオンライン意見交換会を開催】

本日7月2日（土曜日）、総務文... もっと見る



（PTAとの意見交換会の模様をSNSで発信）

鳥取市議会 ～障害者に配慮した議会中継～

【人口】（令和2年国調）188,465人
【議員】32人（うち女性議員5人）

※令和4年4月1日現在

- 鳥取市議会では、聴覚障害者への情報保障を図る目的で、議会中継等で手話通訳、字幕を導入。
- 本会議に手話通訳者を配置して、手話通訳付き中継映像を作成するとともに、AI音声認識システムを使って会議中の発言を文字化し、①ケーブルテレビ議会中継では手話通訳付き映像の放映を、②インターネットでは手話通訳と字幕付き映像の配信を、③議場では傍聴席に設置したモニターで手話通訳と字幕を表示している。



（傍聴席モニターでの字幕表示の様子）

北海道鷹栖町議会 ～広報チラシにおける工夫～

【人口】（令和2年国調）6,567人
【議員】12人（うち女性議員1人）

※令和4年4月1日現在

- 鷹栖町議会では、議員選挙が3期連続で無投票となったことをきっかけに、議会に対する住民の関心を高めるため、週刊誌や家電量販店のチラシをイメージした広報チラシを作製し、定例会の案内等を実施。
- 従前よりも傍聴者数が増加する効果があった。



（家電量販店をイメージした令和4年9月定例会の案内チラシ）